



議会だより

2007
平成19年

1月25日発行

No.103

- 発行...太良町議会 ○編集...編集委員会
- 〒849 1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6 TEL 0954 67 2151
- <http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>



消防出初式（1月7日）

一般会計補正予算 1億2,200万円追加
指定管理者制度導入（しおさい会館・火葬場）

議会会議録がインターネットで見られるようになりました。

太良町議会のホームページ <http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>

にアクセスし会議録をクリックしてください。

新年のご挨拶

議長 坂口久信



おける日本選手の目覚しい活躍が私たちに大きな感動と勇気を与えてくれました。

また、皇室におかれましては悠仁親王殿下がお生まれになるなどうれしいニュースもありました。

しかし、青少年がいじめを苦しむ自ら命を絶つという事件や児童虐待が相次ぎ、社会に暗い影を落とした一年でもありました。

地方におきましては、国の三位一体の改革により、交付税制度が見直され、大変厳しい財政状況にあり、また国勢調査の結果、人口減少・少子高齢化が明確になり、より一層の行財政改革に努め効果的な財政運営が必要となっており、ますます予算に対する議会の監視機能の重要性が問われております。

地方分権が進展するなか、町民

の皆様と行政が一体となって、地域の特性を活かしたまちづくりを進めていくことが必要になってまいります。

太良町議会といたしましても町民に開かれた議会を目指してさまざまな課題に取り組んでおります。

町民の皆様のご意見が町政に反映されるよう自己研鑽に努め、明るく活力あるまちづくりのために議員一同邁進してまいります。

どうか本年も一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年一年が皆様にとりまして、幸せ多い年でありますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

決算審査特別委員会報告

平成十七年度一般会計及び五特別会計の歳入、歳出、決算審査を十一月七日、八日、十二日の三日間審議審査の結果原案通り認定した。

審査報告

一、普通会計における財政指標の数値では、経常収支比率、公債費比率の増加が見受けられ、普通会計のみならず特別会計でも消費的経費の抑制は言うまでもなく、なかでも義務的経費は増える傾向にあり、繰入金依存体質から脱却され、経費の節減と合理化に最善の努力を払われたい。

一、厳しい社会情勢の中で今までの未収金徴収方法では、滞納額の増加が予想され、滞納徴収については、関係課の業務の一貫であり明確な責任と助役を中心とした徴収体制整備による厳正な対応を早急に求める。

一、行政区五十五の実態は、五戸から二百六十三戸と格差がありすぎ、一定の世帯規模の集約した嘱託員の再編と消防団の部の再編による経費節減と合理化を研究されたい。

一、国保については、急速な高齢化や医療費の増加とともに、経済の低迷による保険料収入の伸び悩みから深刻な財政の窮地状態にあるが、基金からの多額の繰り入れにより、維持されている状況で各種保健事業、食生活健康意識を高め、医療費抑制に一層の努力を求める。

一、竹崎漁業集落排水事業については、維持管理費等の経費節減に一層努力されたい。

一、町立太良病院事業においては、事業収益を基本とした収支の均衡こそが企業会計の本旨であり、単年度赤字決算の原因究明など総合的に検討せよ。

最後に平成十九年度予算の行財政に決算結果を十分生かされるよう期待する。

12月定例議会

12月8日～12月19日(12日間)

一般会計補正予算額 1億2,216万円

台風被害復旧事業 7,290万円

広域農道整備事業負担金 1,050万円

臨時議会

十月二十三日

専決処分の承認

一般会計補正予算

主なものは道越環境広場災害復旧事業費二千七百四十万円。

漁業集落排水特別会計繰出金九百万円、補正後の総額四十五億七千二百三十三万二千円。

漁業集落排水特別会計の補正予算

主なものは竹崎浄化センター災害復旧事業費九百万円、補正後の総額六千五百四十万円。

太良病院補正予算

今回の補正は、消耗品費二百万円増額補正とレントゲン写真用封筒作成等のための印刷製本費五十万円の増額補正。

(平成十八年十月臨時議会分)

定例議会

国民健康保険税条例の一部を改正

改正の主なものは、長期譲渡所得及び短期譲渡所得に係る国民健康保険税の町民税の税率を改正。

乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正

健康保険法等により一部改正。

「特定療養費」が廃止され「保険外併用療養費」が導入される。

母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正

健康保険法等により一部改正。

「特定療養費」が廃止され「入院時生活療養費、保険外併用療養費」が導入される。

重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正

健康保険法等により一部改正。

「特定療養費」が廃止され「入院時生活療養費、保険外併用療養費」が導入される。

佐賀県後期高齢者医療広域連合の設置

新たに創設される後期高齢者医療制度の事務を協同処理するため、広域連合を設置する。

- 佐賀県市町総合事務組合の設立
- 佐賀県市町村職員退職手当組合の解散
- 佐賀県市町村職員退職手当組合の解散に伴う財産処分

- 佐賀県市町村消防団員公務災害補償組合の解散
- 佐賀県市町村消防団員公務災害補償組合の解散に伴う財産処分

- 佐賀県市町村非常勤職員公務災害補償等組合の解散
- 佐賀県市町村非常勤職員公務災害補償等組合の解散に伴う財産処分

- 佐賀県市町村交通災害共済組合の解散
- 佐賀県市町村交通災害共済組合の解散に伴う財産処分

- 佐賀県自治会館組合の解散
- 佐賀県自治会館組合の解散に伴う財産処分
- 佐賀県市町村議会議員公務災害補償等組合の解散
- 佐賀県市町村議会議員公務災害補償等組合の解散に伴う財産処分

以上十三議案は、一部事務組合の設立、解散及び解散に伴う財産処分について、全組織団体の協議が必要のため、議会で議決。

指定管理者の指定について

太良町総合福祉保健センター

指定する団体の名称 太良町社会福祉協議会

指定期間 自 平成十九年四月一日

至 平成二十二年三月三十一日

太良町営火葬場

指定する団体の名称 太良クリーンセンター

指定期間 自 平成十九年四月一日

至 平成二十二年三月三十一日

一般会計補正予算

主なものは、家庭用合併処理浄化槽設置整備事業費補助金百五十八万五千円、県営広域農道整備事業費負担金千五十万円、生活交通路線バス運行費補助金六十二万四千円、地区公民館整備事業費補助金（喰場・端月婦人ホーム）五十万円、埋蔵文化財確認調査事業費四百八十六万五千円、農地等災害復旧費百九十四万円、道路橋梁等補助災害復旧費二千二百三十四万四千円、漁港施設災害復旧費四千八百六十一万七千円、財政調整基金積立金四千二百九十七万二千円で、合計一億二千二百六十六万六千円の増額。

補正後の一般会計予算の総額は歳入歳出それぞれ四十六億九千三百三十九万八千円。

老人保健特別会計補正予算

主なものは、医療費給付費負担金の増によるものや佐賀県後期高齢者医療広域連合負担金、レセプト審査委託料の増により九千九百九十四万二千円追加。

国民健康保険特別会計補正予算

主なものは、療養諸費及び高額療養費の増により四百八十一万円追加。

町立太良病院事業会計補正予算

主なものは、臨時職員分賃金九百一万三千円の増額補正と手術用材料費千二百一十万円の増額、病院維持管理等の委託料二千二百万円の減額、整形外科用治療機器購入のための三百六十七万五千円の増額。

去る十二月定例議会において

坂口 祐樹氏 退任

町民の声を町政へ

一般質問



台風災害における町の対応は

山口 光章 議員

答 できるだけ早く対応していきたい

山口 台風十三号の被害は、我が町にとって一次産業に大きな打撃を与えた。

これから先今回以上の大きな台風被害が出るかもしれない。そのため対策、対応マニュアルはあるのか。

総務課長 災害時のマニュアルは作っているが細部



弓道場の台風被害

山口 台風災害後の後片づけ、ゴミの処理などの適

切な町の対応は。

町長 ごみ処理については地域防災計画で、現在の波瀬ノ浦地区にあるリサイクルセンターに搬入するようにしている。

山口 ゴミの収集場所等、的確な指示はどうしたか。

町長 町民から問い合わせがあった分には対応した。

山口 ごみ処理における事前の案内住民サービスはどうであったか。

町長 台風接近については防災無線並びにホームページでは広報したもの、事前の広報は行っていない。

山口 他の市町村ではゴミの収集場所の指定などをやっていたが、今回の指導は。

町長 太良町としては、事前の指定はしていないが、被害状況により、随時、防災無線で対応するようにしている。

山口 ひとり暮らしなどの老人に対しての親切なゴミ処理対応など各部落にはどのように指示されて

いるのか。

町長 ひとり暮らしの老人と限らず、災害時の後片づけについては、区長より消防団への協力をお願いしている。

山口 管理者不在の空き家などが各部落に点在しているが、災害時においてはどうのような管理で災害に対応しているのか。

町長 適切な管理をされていない空き家も見受けられる。これらの物件等が放置されると、近隣住民者に対し、防災、防犯、衛生上、影響を及ぼすと思われるので、今後、各地区消防署等を初めとする関係機関との連携を図りながら、空き家並びに危険家屋等の把握、並びに、適切な維持管理の指導に努めたい。

山口 十五年前の台風十七号、十九号、では、小長井町では、適切な対応がなされそのマニュアルも発表されたが、太良町では、十五年たった今でも

そのマニュアルさえ作っていない。

どうしても住民サービスの向上とは言えない。他の市町村に十五年以上おくれをとっているわけだが、どのような考え方が。

総務課長 私達も各町の対応の早さには感心している。

担当各課に指摘をし、できるだけ早くやっていることとされている。

山口 決して台風だけではないと思うが、火事、地震、行方不明者の捜索とか、それらのマニュアルはできているのか。

総務課長 そのようなときに対応するというので、今マニュアルをつくっている。

山口 そのへんは十分によその町に負けないようなマニュアルを作りたい。

町長 提案はいい警鐘であったと思うから、ゴミの処理も含めて、人命の対応も含めてやらねばならないと思っている。仕上げを見てもらえればと思っている。

山口 確実な答弁であるから、ものすごく期待を持つことにする。



振興策の進捗を問う

答 予定通り進行させる

宍下 古川知事等と協議の結果JR長崎線経営分離に同意し、振興策事業として県道多良岳公園線、

県道竹崎上田古里線、伊福地区越波、餌料培養礁等の進捗状況を問う。

町長 公園線は路線の測量と道路詳細設計、JR設計、十二月中に地権者説明会予定である。

竹崎線は道路詳細設計が完了、地権者説明、同意が得たら用地買収契約伊福越波は地質調査と測量設計十二月委託事業発注予定、餌料培養礁は十九年二月中旬から三月中旬に三十六基設置計画である。

企画商工課長 来年三月までは計画書策定をつくる形で事業概要を出すよう検討する。

宍下 有明海沿岸道路、鹿島諫早間五十km、平成七年十月建設促進期成会発足、現在まで二十九回協議陳情が行われたが、どうか。

町長 国土交通省に陣内、今村両代議士と一緒に陳情した。今調査しているから来年に入ったら更に本省に要請する思いである。

宍下 佐賀・長崎両知事の沿岸道に対しての考えは、

町長 両知事が政治的旗を掲げて中央に行き、両県の代議士を集め一緒にやるのが大賛成である。

宍下 農業、漁業組合員、後継者の推移は。

町長 平成十年農協町内正組員千四百八十九人、十

八年千二百八十一人、二百八十八人減、果協十年七十四人減、たら漁協十年七十一人減、十七年六十八人減、大浦漁協十年三百五十七人、十七年二百九十四人、六十三人減、大浦研究部十年百十八人、十七年五十九人と半減している。

宍下 長崎県総合水産試験場はタイラギ種苗量産成功と報道があるが、有明水産振興センターも長崎県の研究成果を基本にして強力に推進してはどうか。

町長 あらゆる研究で再生が必要であり、四県漁連が真剣に考えて有明海条例でも作るよう提案している。

宍下 台風十三号災害復旧事業等を問う。

町長 平成十八年十月国土交通省、財務省災害査定平成十八年十一月水産庁

木下 繁義 議員

財務省の査定が申請どおり採択、工事発注は年度内の予定。

農産物、水稻野菜果樹被害額四億千百万円、農

業施設園芸被害千八百八十万円、畜産三億七百万円、山林風倒木・人工林官行林県有林民有林、計七百八十万円、台風十三号被害、計九億千八百八十万円である。

宍下 水産力キ養殖、イカダ破損二十一基二百七十七万円、ロープ切断等千三百万円他、計千九百十六万九千円。

町長 災害被害は現況復旧が基本であるが、岩永代議士と水産庁に行き、農林水産大臣にも会い何回も繰り返しの復旧は国県町も損失、財政の無駄遣いではないかと強力に迫った結果、水産長官も本省と県と協議し答えを出す。

宍下 大浦中学校体育館の老朽化に伴い改修を問う。

町長 体育館は昭和三十六年に建築、老朽化が進み平成十七年耐力調査の結果、不適合格改築建物の要件に該当、学校施設検討委員会を立ち上げ審議の結果、文部科学省は五月事業認定申請、六月国库補助金交付申請、九月実施単価調査、十二月補助金概算払い、平成十九年度枠を確保している。



台風13号被害（竹崎処理場護岸）



肥大化した組織の再編は

恵崎 良司 議員

答 住民サービス向上を念頭に

恵崎 現在の組織機構は肥大化している。

機動的で柔軟な組織へ整理統合する必要があると考えるが。

町長 事務事業の選択を行いながら、前例にこだわらず住民ニーズに対応しながら、住民サービスの向上を念頭に再編に臨みたい。

恵崎 今、課長担当部署は幾つあるか即答できるか。

総務課長 十八課、室ある。

恵崎 この数の多さをどのように認識するか。

助役 今まで本町の場合、ずっと縦割式でやっている。

恵崎 県は古川知事の改革で、六本部二局一斤の九つ、国も九省である。

国、県と単純に比較はできないが行政の本質の部分は根本的には変わらないと思われる。

少なくとも十以内の部署に統合したらどうか。

助役 十八年度の行政改革には間に合わなかった。今後検討したい。

恵崎 総務課、町民税務課、健康福祉課、産業課、建設環境課、教育委員会、

議会事務局の七つぐらいに統合再編したらどうか。

あくまでも町民満足度向上のための機動的で柔軟な改革であり、町民の窓口となる事務事業部門をカットするものではない。

地区担当職員制度について

助役 建設的な指摘を受けたが、検討はやっているので猶予をいただきたい。

恵崎 職員が積極的に地域に出向いて接触し、町民とより密なコミュニケーションをとるにより、住民と役場が良好な関係を築くために、導入する考えはないか。

町長 職員は地域のさまざまな課題や問題についてすべてに対応できるものではなく、防災、福祉、環境、生活基盤、産業基盤等各業務に配置され、それぞれの分野を専門に行っている。

地域の実情を最も熟知されている区長を事務嘱託員として委嘱している。制度の創設については機能や役割等、しば

らく研究、検討する時間をもらいたい。

恵崎 地区担当職員制度で、何でもかんでも解決せよ、ということではない。

積極的に地区の評議員会や総会に出席して住民ニーズを把握する受け皿的なもので、待ちの行政から脱皮して御用聞き的の制度と考えればよい。

意識改革と人材育成について

恵崎 町づくりの主役は町民であるが、まずは職員

の意識改革が原点である。そこで人材育成こそが

最重要課題と考えるが、どのような取り組みをしてきたのか。

町長 職員の教育については、ITへの対応や接遇マナーの向上の研修、自治事務については、千葉県の全国市町村研修所（市町村アカデミー）においてさまざまな研修を、近年は法令実務を重点的に受講させている。

また、県職員研修所において管理者、監督者、法令実務、初任者研修等に毎年十名程度受講をさせている。

実施した。

また、現在行政評価システム構築から施行までを若手職員の自発的な取り組みにより進めている。

今後の計画は、平成十七年十月策定の太良町人材育成基本方針に基づいて進めていく。

基本的な目的として、自己決定、自己責任の原則に対応し、住民に対する説明責任を果たせるよう基礎的自治事務能力を高め、住民のニーズに対して真摯に公僕として職責を果たすよう訓育をしていく。

現在	改革私案
総務課	総務課
財政課	町民税務課
企画商工課	健康福祉課
建設課	産業振興課
土地改良課	建設環境課
農林水産課	教育委員会
税務課	議会事務局
町民福祉課	大浦支所
健康増進課	公民館
環境水道課	太良病院
農業委員会	
収入役室	
教育委員会	
議会事務局	
大浦支所	
給食センター	
公民館	
太良病院	

18部署 → 10部署



ブランド化を図る考えは

竹下 武幸 議員

答 販売促進や情報誌等を活用したい

太良町農産物のブランド化について

竹下 太良町は山、里、海より数多くの林産物、農産物、畜産物、海産物で私達の生活に恩恵を与えている。

今回は多良岳材、ミカン、豚、カキ等により一層の付加価値をつけるため、行政、組合、生産者が連携を取りながら、一流品としてのブランド化を図るための対応を問う。

町長 多良岳材については、他の産地より有利な価格で販売するため、関係機関と連携を図りながら、多良岳材生産販売体制を整えることが重要。

「太幸早生」では、本格出荷から三年を迎えているが生産のための単独補助事業とあわせて、販売まで町、生産者団体と一

体となり販売促進や宣伝活動を行っている。

豚では、今後豚舎等の衛生管理及び周辺環境に配慮しながら、優良豚の生産を推進したい。

カキについては漁業不振の中、養殖いかだへの助成により、生産量確保に努める。

カキ焼だけでなく、生食用を視野に減菌機の導入とテレビ、情報誌等を活用したい。

竹下 多良岳材をブランド化するために、市場に継続して出荷出来るように間伐だけでなく場所、樹齢等を考慮し少しずつでも皆伐すべきでは。

町長 材価が低迷している中、皆伐が良いという状態ではない。

運営委員会や森林組合の方々と会合を持って研究していきたい。

竹下 太良町の「太幸早生」

の生産量を増やすと共に、県内の産地でも生産が出来るよう体制をつくり、苗木の配布等で「太幸早生」全体の生産量を増や

しては。

町長 「太幸早生」は佐賀みどり管内には、出してもいい。

「太幸早生やいさお」だけでなく、良い品種は



竹崎ブランドカキ

継続的に出荷出来るようにし、太良町のミカンのイメージアップを図る。

竹下 以前の養豚では、何頭かずつ飼育され甘藷が飼料の主体で「太良豚」として、有名であった。

現在多頭飼育の中でそれが出来るか疑問があるが、太良何々豚というように出来ないか。

町長 農協等、系統の方々が経験上、いいという確たるものがあれば応援体制をとる。

竹下 竹崎カキは優秀なので今後は食の安心・安全のため、浄化槽の設置で生食用の出荷体制をとつては。

町長 生食で出せるように、貝消毒の機械購入に助成をしたい。

竹下 太良町でカキ祭りがカキフェアを開催しては。

町長 太良町に来てもらうのが先決ですから、業者・漁協等で企画が出来ればよい。

竹下 竹崎力二とか竹崎力三等の商標登録をしては。

町長 登録はした方が良くと思うが、企画課で研究してみる。

台風十三号
被害対策について

竹下 去る九月十七日の台風十三号は、農林・漁業に多大な損害を与えた。

各方面の要望、努力により激甚地災害の指定を受けたが、国、県、町の支援対応はどうするのか。

町長 町としては、太幸やいさお等有望な品種には考えたい。

竹下 国の支援は十九年三月三十一日までの事業期間であり、ミカンの被害拡大や施設等はこれでは対応出来ない。

町は予算の中で考えてもらえるが、国は農家の実情を知っているのか疑問だ。



畜産公害の防止策示せ

田口 靖 議員

答 対象農家に未整備はない

問 有機農業推進法が近く国会に提案され、成立の公算が大きいと報道されているが、高温多雨の温暖化の悪影響のもとで、畜産公害の防止策はどう指導しているのか。

町長 家畜排泄物の管理の適正化等の促進に関する法律で、平成十六年十一月から完全に施行することが義務づけられ、リース事業、県単独事業の堆肥舎や浄化槽の設置、町単独の原材料支給で堆肥置場を整え、対象農家で未整備はない。

また、年二回家畜保健所、畜産試験場の技師が立入検査しており、苦情等があった場合は、緊急に立入検査を実施し、法律に沿って対応している。

問 畜産農家の懸命の努力と県や町の行政指導で、違法性はないと思うが、地球規模での温暖化の中で、高温多雨、異常気象に苦しめられ、現状を實際に見て、どう判断されているのか。

農林水産課長 我が町は農業粗生産額を大半は畜産で占めており、排泄物も多量に出ている。

しかし、堆肥の需要と供給がうまくいかないとき、ストックする時期があり、供給できない時期に多雨にあうと、堆肥は流出することもあり、苦情もあっている。

町としては、最小限に畜産公害をとどめる最善の努力をしているので、ご理解いただきたい。

問 堆肥センターの建設については、平成十二年六月議会での他の議員からも一般質問があつて、町長は避けて通れない課題だと、答弁され大型畜産堆肥センターの建設には意欲を持っておられる。

約六年が経過しているが実現はしていない。だからといって、六年間何故取り組まなかったのかと責めはしない。

現実には、堆肥センターの建設が、堆肥の集積施設の維持、管理と運営に困難性が伴うからだ。

和牛放牧で荒地再活用
海水みかんも優れた
利用法

問 大浦土地改良区等荒地への和牛の放牧と土

地の有効活用はどうか。和牛改良組合長堀勝郎氏が今里で、上滝氏が牛尾呂でみかん園に放牧、県の畜産技術連絡協議会が、先進事例として「九州地区放牧現地研修会」を、大浦今里の堀勝郎放牧場で開催されている。



荒廃園が和牛の放牧で一石三鳥の再利用（今里）

地改良区の人たちと、役場の関係する課、農業委員会が協力し合つて、有機減農薬の農地として活用してはどうか。

町長 和牛の放牧は、妊娠鑑定牛が対象で一ha当り二頭を簡易放牧、農協、農委、町、普及センターで合同の実働チームを作り、荒廃園解消を図る。跡地は転牧後に作物の栽培が可能で、タマネギ、アスパラ、ネギなど利用者が増えている。

生ごみで食育体験 地産地消の原点に

問 食育と環境教育の体験学習については、多良小PTA活動が、全国PTA表彰を受賞、県PTA初

の快挙という輝かしい栄誉に浴したという報告を過日なされたが、町内の他の三校も負けず劣らず、環境教育の指定校として立派な成果をおさめてきている。

教育長 小学三年生がナス、トマト、キュウリ、ピーマンなど総合学習で野菜作りをやるうと展開しており、さらに進めたい。

問 太良高校三十周年記念式典で、東島校長は校歌の作詞者吉田瑞穂先生に愛郷への深い思いを託された。

たらにこだわった郷土愛に根ざした「有機の里」づくりに期待したい。



青春・佐賀総体の受入れ態勢は

久保 繁幸 議員

答 感銘と感動のある大会を目指す

久保 この夏佐賀に君色の

風が吹くをスローガンとした高校スポーツ界の祭典、佐賀総体が開催されるが我が町では男子ソフトボール競技が、町営野球場と道越環境広場の二ヶ所で行われる予定で、延べ一万余千人の来町が予想されているが、受入れ態勢、対応はどうか。

町長 昨年七月の九州大会

いわゆるブレ総体は、全体的にスムーズに運営できたと思っている。

今回の総体は財政難ではあるが簡素な中にも、感銘と感動のある大会を目指したい。

久保 応援団と一般観覧者の場を、どのように確保

される予定なのか。

公民館長 両競技場とも各

一塁、三塁側後方に専用テント、いすを配置して確保する予定としている。

久保 道越環境広場の海側

は狭く危険と思うが、それで大丈夫なのか。

公民館長 近年大きなソフト

ボール競技大会の一チームの応援者は、多くても四十名程度と聞くので大丈夫ではないかと考えている。

久保 町営球場の入口、J

A 資材センターは年中無休と聞くが、購買者とのトラブルは起きないか。

公民館長 JA資材セン

ター前は大会期間中受付案内所、休憩所、仮設トイレ、売店設置等を予定しているが、JA関係者と十分な打ち合わせをし、総体の成功推進に努めて

行きたい。

久保 土曜、日曜、夜間の

救急体制は。

公民館長 競技場、宿舎で

の救急は緊急時マニュアルを作成し、万全な態勢を整える予定だ。

久保 選手等の洗濯を担当

する部員やマネージャーたちがブレ大会の時、夜中までかかり洗濯を行っていたが、ランドリー洗濯場の仮設の設置はできないものか。

公民館長 昨年のブレ大会

の反省を踏まえ、実行委員会会で検討し、関係宿舎と連携し、先進地を調べ確認を取り、対応したいと考えている。

久保 すばらしい大会、心

に残る大会となるよう推進、努力をしていただくようお願いする。

いじめの早期発見

対応策は

久保 社会的な関心の高さ

があり、大きな社会問題として政治課題の中心となり脚光を浴びている「いじめ」「親の子殺し」「子の親殺し」など頻発し深刻な事態の現在、町内各学校でのいじめ問題の指導、早期発見、対応はどのように行っているか。

教育長 いじめを許さない

学校づくり、いじめは人間として絶対許されないとの意識を学校教育全体を通じて一人一人に徹底する必要があること。またいじめられる児童、生徒については学校が徹底して守る姿勢を示すことが必要と思っているとおり、各学校において、いじめ問題を含め定



高校総体開会式風景（平成18年）

期的に生活調査、アンケートを実施している。

久保 教師へのいじめ問題はどのように指導を行っているのか。

教育長 毎月町内小中学校

校長会において、いじめ問題改善策に取り組み、指導の充実と周知徹底を図っているところである。

停止の問題をどう思うか。

教育長 出席停止によつていじめ問題が解決されればよいが、軽々に出席停止の手段を選ぶべきではないと思う。

久保 いじめた者への出席



台風災害の支援策について

吉田 俊章 議員

答 県単・町開発資金の増額で対応したい

吉田 台風十三号の潮風害による被害をどのように把握しているか。

町長 水稲・野菜・果樹が八百六ha四億千百万円、園芸施設三十戸千八百八十万円、畜産施設九戸三億七百万円、その他マルチ等総額九億千八百八十万円となっている。

果樹の樹体被害については、被害の進行が今後とも懸念されている。

吉田 水稲に比べ樹園地の被害は分かりにくい。

町長 ミカンについては不透明で憶測がしがたい。

吉田 激甚災指定の利点は、農地、施設等の災害復旧事業の補助の特例。

町長 激甚災により採択基準が緩和されるが、どう対応されたか。

農林水産課長 翌日被災地を回り県に報告し、その後随時報告した。

吉田 県の支援策三億二千

万円の内容は、

農林水産課長 施設被害、果樹野菜等樹勢草勢回復、果樹等改植事業がある。

実施期限は、平成十九年三月三十一日までに完了するものに限る。

吉田 国の改植事業と、今

回の災害による改植事業との整合性は、

農林水産課長 十八年度当初十五、四haの改植計画があったが、今回の復旧もこの事業でやれる事になり調査計画をした所である。

まだ枠の確定はない。

吉田 国の事業補助二十二万円に対し、県単は二十

一万六千円の二分の一で

期限が三月三十一日となれば実施はむずかしいと思うが。

農林水産課長 国の事業が出来る所では県単の事業はちよつとどうかと思う。

町長 国、県で出来ない所は、皆さんとお諮りしてやっていく。

吉田 個人出荷者協議会やその他の個人出荷者にはどう指導しているのか。

農林水産課長 協議会には被害把握と県単事業の説明をした。

国の事業が出来ない人は県単の事業がベストと思っている。

吉田 生活支援も含め災害融資は何があるか。

農林水産課長 県単災害資金がある。

七年償還で二年の据え

置き、近代化資金が基準金利で、被災割合により変動する。

吉田 町開発資金、柑橘経営資金について償還中のものもあるが延納措置は出来ないか。

町長 個人名での契約でありむずかしい。

町開発資金の増額で対応したい。

吉田 一時しのぎも考え、野菜の推進がされているが、種子の一部でも援助出来ないか。

町長 個人には出来ないが協議会を作ってやられたら応援する。

吉田 災害を受けた樹園地、或いは荒廃地がたくさん出ている。

放牧も一つの手であるが、野菜推進のためにも畑地になす事業は出来ないか。

町長 畑なおし事業を考えるよう、中央にも申し込んでいる。

土地を集約して出来ないか、夢はあるが可能性は薄いと思うが要請する。

吉田 ミカンのマルチ資材が相当被害を受けている。手助けは出来ないか。

町長 ミカンの品質向上にマルチは必要条件に入っ

ている。やる気のある所に本当に応援したい。

吉田 県は共同施設に対して、固定経費を助成するため、七千九百万円の予算を組んだが、ミカン関係の施設は入っていないが何故か。

町長 理由は分からない。要請するのが私の立場だと思っている。

吉田 町財政の厳しさは分かっているが、町の破綻の前に町民が破綻しないよう、町長のやる気に期待する。



台風13号による果樹被害

意見書を提出

道路特定財源制度の 堅持について

道路は地域間の交流や連携を促進させ、産業・経済・文化などあらゆる分野の振興と地方の発展を図るため、最も基本的な社会基盤として道路網の整備は優先されるべき課題であり、地域住民が等しく熱望している。

財政基盤が脆弱な自治体では多額の負担が伴うため遅々として進まない状況であるので、財源確保策として、現行の道路特定財源制度は今後とも堅持されるよう強く要望する。以上関係大臣に提出した。

台風十三号に係る 災害復旧対策について

平成十八年九月十七日の台風は最大風速五十mを記録、県下全域で停電などのライフラインの断絶も相次いだところである。

本町でも町道、漁港などの公共土木施設、農地及び農業用施設、林地や農産物、

水産物、住家など甚大な被害が発生し、被害総額は九億千万円と農家経済に大きな影響を及ぼしている。

太良町では被災者への支援に県及び関係機関とともに全力を挙げて取り組んでいるが、国による迅速かつ強力な支援を早急に配慮されるよう、関係大臣に要望した。



町道災害（破瀬ノ浦）

長野県松川町・下條村を視察

総務常任委員会

視察研修報告

感をもって頑張っていたのが印象深い。

一昨年視察した福島県矢祭町や今回の下條村は単独運営の一つのモデルだろう。原点は、最大の経営資源である人そのものにあるのでは、と実感した。



平成十八年十一月十四、十五、十六の三日間、行財政改革と町づくりを研修目的として、長野県松川町と下條村を視察した。

松川町は面積七十三km²で本町とほぼ同じ、人口一万四千人で本町より三千人多い。

東に南アルプス連峰、西に中央アルプス連峰を望む景勝地で、果樹、水稲、畜産と一次産業も盛んで、特にりんごは専門化が増加傾向にあった。

注目点の一つは、自治会担当職員制度で職員が積極的に地域へ入り、町民とのコミュニケーションにより、職員の意識改革と育成を図ると共に、「何でも相談できる存在」を目指して、情報の収集と提供、自治会長

宛文書の配布、自治会活動の支援、まちづくり懇談会等の設定や調整及び書記、地域主催会議への出席などの役割を担って、各自治会へ二名の担当職員を配置している。

地域の実情を知る大切な機会として勉強になり、また町民も町政に対する関心と参加意識も高まり、今後住民と行政が良きパートナーとして協働のまちづくりを推進する上で、参考になる制度であった。

組織機構の改革も進んでおり、総務・住民税務・保健福祉・産業振興・建設水道課・教育委員会事務局と議会事務局の五課二局と課長部署は七つで、組織のスリム化が図られていた。下條村は長野県の最南端、

下伊那郡の中央に位置し、面積三十七km²、人口四千二百人、林野率七十%の小さな村で、いま全国から熱い注目を浴びている。

その一つが出生率の上昇で、平成十七年の全国平均一・二五に対し、平成五年〜九年当時一・八〇が平成十五年〜十七年は二・一二と日本一の上昇率を達成し、ゼロ歳から十四歳までの若年人口率も七七・三%と長野県下一位を記録している。

主な要因として、若者が好むマンション風の村営集合住宅を平成九年から十七年度までに九棟百十二戸を建設、2LDKで家賃三万六千円、入居条件は若者で子供がいるか、結婚する人に限定し、加えて子育て支援策として平成十六年度か

ら中学生までの医療費を無料化したことで、家賃も隣の飯田市の民間アパートの半分くらいと相まって、作ればすぐ入居者が来るという状況で、人口も三十五年ぶりに四千二百人を突破した。

職員の意識改革では、全職員を五人ずつ十一チームに分け、民間ホームセンターに一週間ずつ物品販売の店頭立ち、民間経営の厳しさを研修、外の世界を体験することで意識も変わりやる気も出てきたとのこと。

収入役は平成十五年から廃止、教育長は平成十七年から欠員、平成四年度五十人の職員を十八年度には三十五人に削減、少なくとも全体の奉仕者として使命

故百武豊町長を偲び 太良町追悼式開催

一月一日急逝された百武豊町長の追悼式が、一月二十日太良町自然休養村管理センターで行われました。追悼式には、古川康佐賀県知事をはじめ、県内首長・議長など町内外から約千名の参列を得て、故人の冥福が祈られました。祭壇には、にこやかな笑顔の遺影が飾られ、町議会議長や県選出国會議員らの追悼のことが述べられ、

ひとりひとりから祭壇に白い花が供えられました。太良町の発展のため生涯を捧げられました故百武豊町長に議員一同心からお礼申し上げます。また、ご参列いただきました方々には、紙面をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。太良町議會議員一同



10月～12月

議会のあゆみ

10・5	県内町議長会議	10・6	市町村行政講演会	10・13	議員全員協議会	10・17	同和問題市町村講座	10・18	町村議會議員研修会	10・20	行政視察来町(福岡県嘉麻市総務員会)	10・21	平成18年度県民体育大会	10・23	臨時議会	10・26	差別の現実に学ぶ研修会	10・29	第26回豊かな海づくり大会	11・1	有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望活動(長崎)	11・2	有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望活動(長崎)		
11・5	部地区建設促進期成会要望活動(長崎)	11・6	文化祭	11・7	決算委員会	11・8	決算委員会	11・10	担い手育成推進大会	11・11	大町町施行70周年記念式典	11・13	九州新幹線西九州ルート建設促進佐賀西部地区議員連盟役員会(武雄)	11・14	有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望活動(東京)	11・14	総務常任委員	11・15	高校総体実行委員会	11・18	学童駅伝大会	11・21	有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望活動(東京)		
11・22	第50回町村議會議長全国大会	11・25	太良高校30周年記念式典	11・27	九州新幹線西九州ルート早期実現!総決起大会(嬉野)	11・30	武雄・鹿島政経セミナー	12・1	県町村議會議長会	12・2	小型動力ポンプ積載車引渡し式	12・4	山林運営委員会	12・5	議会運営委員会	12・8	12月定例議会議員全員協議会	12・13	定例議会議員全員協議会	12・14	定例議会議員全員協議会	12・17	郡市対抗県内一周駅伝大会結団式(嬉野)	12・18	定例議会議員全員協議会
12・20	下水道整備基本構想検討委員会	12・22	有明海沿岸道路要望活動(鹿島)	12・25	有明海沿岸道路要望活動(福岡)	12・29	消防団年末警戒																		

編集室より

新年明けましておめでと
うございます。
今年こそは最良の年でありますように御祈り致します。

本年は元旦早々、百武町長の急な御逝去によりまして御家族様には心からお悔み申し上げます。
町長不在のため五十日以内に町長選と、去る十二月に退任された坂口祐樹氏の補欠選が二月十八日、同じに選挙が行われます。
有権者の清き一票を、選挙民の義務として是非投票に参加致しましょう。

編集委員会

委員長	木下 繁義
副委員長	岩島 好
委員	恵崎 良司
	久保 繁幸
	浜崎 敏彦
	見陣 泰幸